

# ときわぎ

## 学校評価臨時号

【学校教育目標】

### 「夢かなえる子の育成」

【目指す学校像】

- ◎ 「えがおいっぱい 夢かなえる学校」
- わかる喜び、学ぶ楽しさを実感できる学校
- 自分が認められ、安心して生活できる学校
- 信頼できる、大好きな教職員や友だちがいる学校
- 家庭・地域と協働して教育活動を進める学校



【目指す子ども像】

### ◎ 「コツコツ努力 パチパチ拍手で のびのび育つ ときわのの子」

- |      |  |
|------|--|
| ときわの | 友だちも自分も大切にする子 (やさしい心をもち、いじめをしない、許さない子) |
|      | きまりを守る子 (きまりや時間を守り、安全に気をつけて過ごす子)       |
|      | わかった、できたを目指す子 (めあてをもって、粘り強く学習する子)      |
|      | のびのびと元気な子 (規則正しい生活をして、力いっぱい活動する子)      |

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。常磐野小学校では、毎年2回、保護者の皆様・児童・教員による「学校評価アンケート」を実施しています。第1回の学校評価の結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。

今年度も昨年度に引き続き、保護者の方には主にご家庭での働きかけ（一部は適合度やお子様の実現度）をご回答いただきました。また、児童は自分自身の振り返りを行いました。保護者の皆様から頂きましたアンケートや児童アンケートをもとに、本校の取組やこれからのお子育てについて、学校教育目標の目指す子ども像や目指す学校像の視点から考察を行いました。

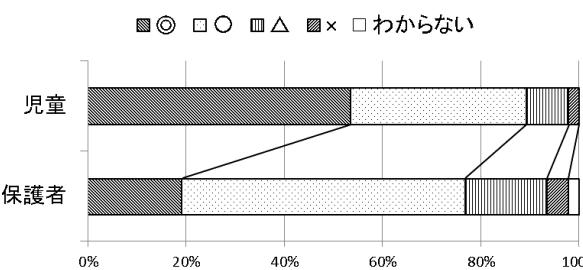
グラフについては、全て棒の左から◎(よくできている)、○(大体できている)、△(あまりできていない)、×(できていない)の評価で表しています。

京都市立常磐野小学校

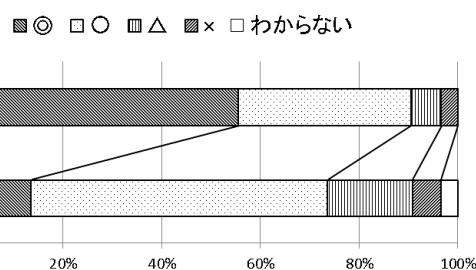
校長 岡 博士

### 確かな学力の育成について

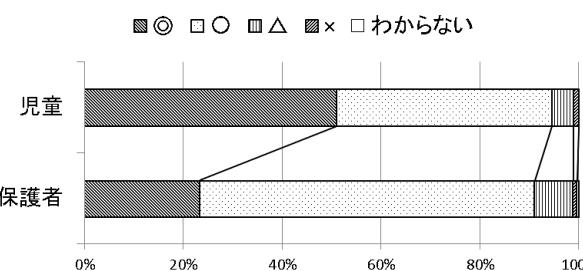
#### 学習への意欲



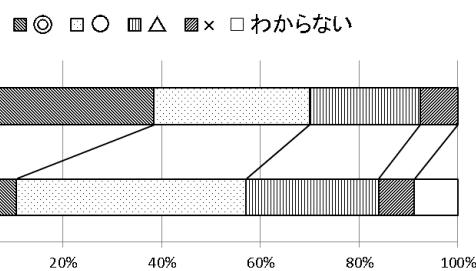
#### 学習理解



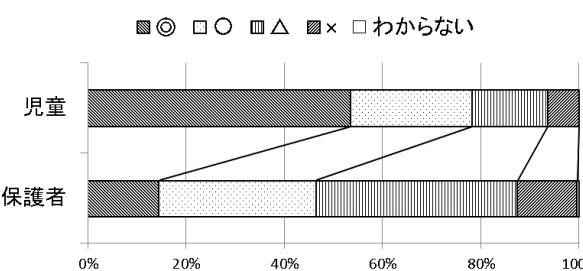
#### 話の聞き方



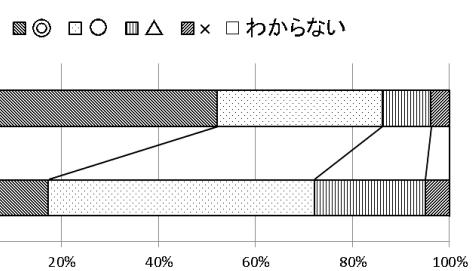
#### 思いや考え方の発表



#### 読書習慣



#### 家庭学習の習慣

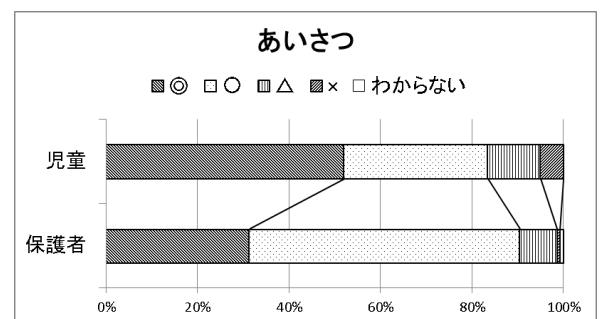
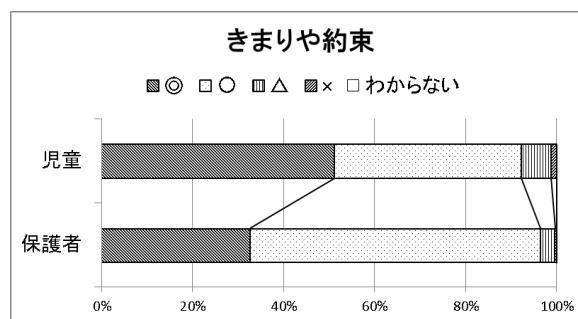
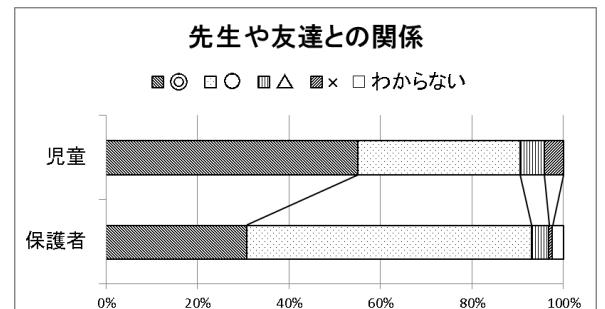
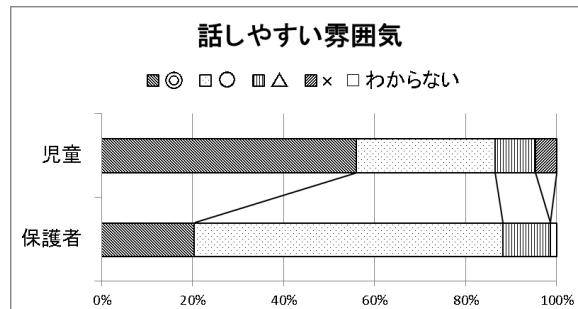


「学力の育成」についての項目では、児童の評価よりも保護者の方の評価が低くなっています。保護者の方の期待の大きさがうかがえます。今年度は家庭訪問の時期に家庭学習についての冊子を配布し充実を図ろうと考えました。宿題だけでなく自分で関心のあることについて学習する「自学の取組」を各学年で進め、学ぶ意欲を高めようとしています。家庭学習について引き続き学校からも働きかけ続けますのでご家庭でもご協力をお願いします。

「聞く、話す」については、授業時間を中心聞き方、話し方を具体的に指導しています。児童の自己評価では肯定的な評価をしているのでその効果があらわれているのだと考えます。一方で保護者の方の評価はそれに比べて低くなっているので、一層の指導の充実が必要になります。学校では昨年度から「ときわぎタイム」を実施して各学年で設定したテーマでスピーチをしたり、それを他学年が聞いたりする活動を進めています。児童が一層自信をもって話したり聞いたりできるように指導の改善を進めます。

読書については、児童の意識と保護者の意識がの差が最も大きくなっています。保護者の方の「よみ聞かせ」の活動や図書室の充実に向けた取組が児童の読書への意識を高めていると考えます。

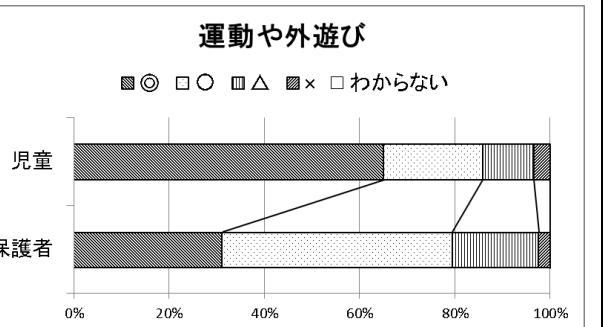
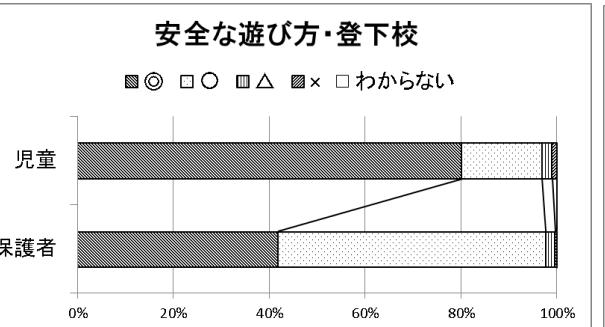
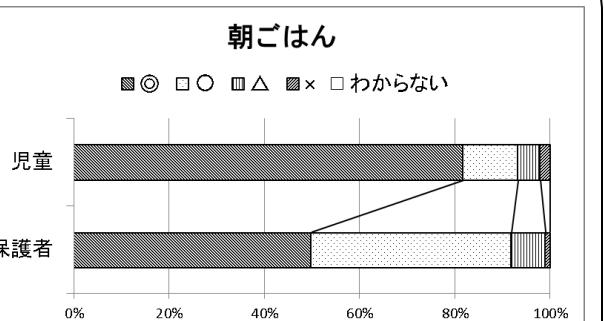
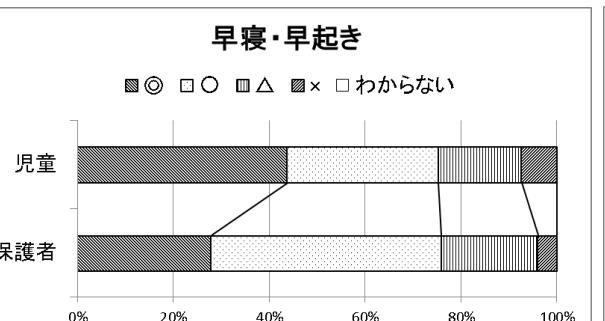
## 豊かな心の育成について



いずれの項目も肯定的な評価の割合が高くなっています。「先生や友達との関係」や「きまりや約束」の項目において9割程度の児童が肯定的にとらえています。きまりや約束を自覚して生活し、友達ともよい関係をつくっていることが分かります。反対に1割程度の児童が否定的に捉えていることにも目を向けていかねばなりません。2割近い児童や保護者の方が話しにくい雰囲気を感じたり、先生や友達とよい関係がとれていなかつたりしていると考えています。すべての児童や保護者の方がそれぞれの思いや考えを話しやすい雰囲気や関係をつくれるように、教職員が丁寧に話を聞く姿勢をもつようにしたいと考えます。

「あいさつ」については否定的に捉えている児童の割合が最も高くなっている項目です。あいさつは、学校やPTAや地域の方々が積極的に児童に対して進めてくださっています。児童の否定的な捉えは、「もっとしなくてはいけない」という前向きな意識のあらわれかもしれません。ご家庭や地域の方々ご協力を引き続きお願いいたします。

## 健やかな体の育成について

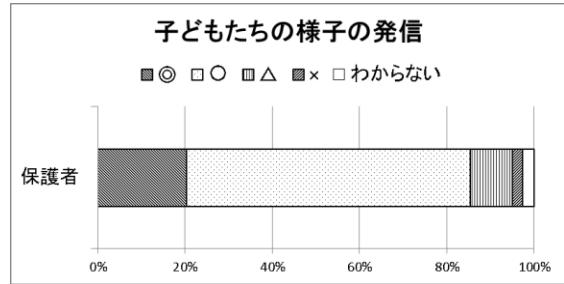


健やかな体の育成は、ほかの内容とともに学校と家庭の協力が必要になります。

「基本的な生活習慣」の項目で「早寝・早起き」が児童、保護者の方が否定的な回答が多い項目でした。2割以上が否定的に捉えています。背景にはゲームなどの時間をとるなかで、寝る時刻が遅くなり、起床時刻が遅くなってしまうということが考えられます。睡眠は心身の安定的な成長に大切なものです。学校でも働きかけていきますのでご家庭での協力をお願いいたします。運動や外遊びについては、休み時間や放課後の外遊びを楽しみにしている児童が多い反面、否定的な回答をしている児童も2割近くいます。学校では全員遊びや縦割り活動などで外遊びの機会をつくっています。

「安全な遊び方・登下校」については、肯定的な回答が高くなっています。地域やPTAの見守り活動が安心や安全につながっていると考えています。

## 児童の様子の発信について



アンケートの自由記述欄には昨年度に続き、ホームページの更新をさらに望むという声がありました。期待の大きさが分かります。各学年で行事や学習の様子を

積極的に発信するよう努めていますのでご理解いただきますようお願いします。また、学年だよりなどでの発信をさらにお願いしたいという意見もありました。

## 自由記述より抜粋

「楽しく登校しています。」「登校を楽しみにしています。」などのご意見をたくさんいただきました。皆様のご意見を受け止め、今後の検討課題としていきます。

○運動会が秋に実施されるようになったのはなぜでしょうか？

→3学期制になり行事の時期の見直し図っています。その中で運動会の時期を秋にしています。1学期と夏休みをこえて子ども達は心身ともに大きく成長します。行事を通してさらに成長を図るために秋の実施としています。暑さや行事が続くことに対する負担については、テントの設置で日陰をつくり、学習発表会としてこれまでの学習を生かしていくことができるよう見通しをもって取り組んだりするようにしています。運動会の種目についても安全面でご意見をいただいているので検討していきます。

○家庭学習（宿題）について量は適切なのでしょうか？

→家庭学習については「手引き」を作成して子どもの成長に合わせた量や学校全体でねらいを定めた内容で取り組むことができるようになっています。自分で学習内容を考える自学ができるような力を育てていくことにも取り組んでいます。ご理解とご協力をお願いします。